



社会福祉法人わらしこの会

わらしこ保育園





保育理念

- 一人でも多くの子どもたちが、平和な世の中で、安心できる大人のもとで伸び伸びと育ってほしい。
- 人間として自立に向かって親と保護者が協力して子どもの成長を育み見守るという子育ての共同化を目指します。

そのために子どもに関わる大人は子どもの最善の利益と子どもの福祉の増進を常に考えます。

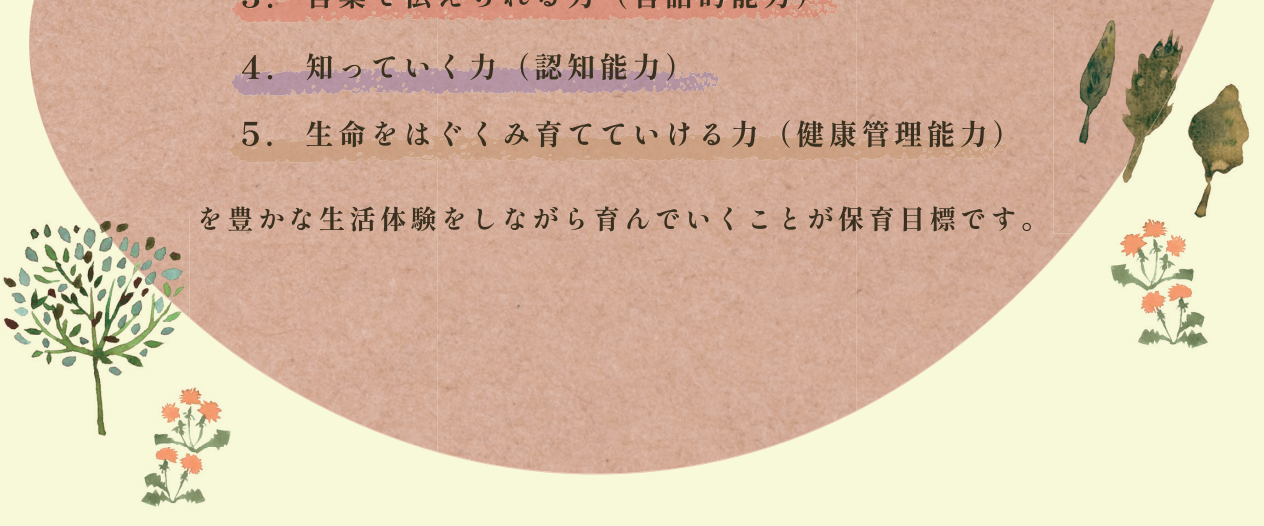
保育園は親が安心して預けられる、相談できる場であり、地域の核となることを保育の理念とします。

保育目標

保育の中で現在の子どもたちに必要な、丈夫で・しなやかで・健康な心と身体を基本とし、以下の五つの力を豊かな生活体験をしながら育んでいきたいと願っています。

1. 人と関わっていける力（社会的能力）
2. 働ける力（労働能力）
3. 言葉で伝えられる力（言語的能力）
4. 知っていく力（認知能力）
5. 生命をはぐくみ育てていける力（健康管理能力）

を豊かな生活体験をしながら育んでいくことが保育目標です。



子どもは小さな大人ではありません。

身体の諸器官も、心のありようも、感受性も

大人とはまったく違っています。

例えば時間の感覚。

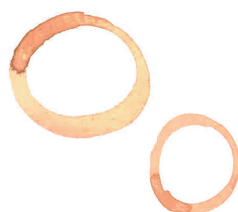
大人になってしまおうと少しの時間と感じるものでも

子どもの時は長く感じたものです。

すべてがゆったりと流れている時間の中で

子どもは様々な事に出会い、味わっていきます。

子どもが、子どもらしい 子ども時代を生きること。



周囲のものがすべてが教材ともいえる子ども時代に

野山での遊びは何よりも師となります。

自然の中で発見し、学び、好奇心を持ち、感謝する。

とことん遊びきることで意欲や行動力、集中力が養われ、

丈夫でしなやかな心と身体が育っていきます。

また、四季折々の季節感ある丁寧な暮らしを

繰り返していくことも、大切な学びとなります。

そうして、これらの豊かな生活体験を積み重ねることが

自分への信頼となって、人と交わる力が培われていくのです。

人間としての土台を築いていく乳・幼児期にふさわしい環境。

かつては何もしなくても手に入っていたことが、

今は意識して取り組まなくてはならない時代といえます。



0歳の育ちは自立の基礎

「目」・「耳」・「鼻」・「口」・「舌」・「唇」・

「手指」・「足指」・「皮フ」...

赤ちゃんは身体全体が感覚器官のようです。

外の刺激に対して「何だろう?」と、

知りたいばかりに触ろうとして初めて寝返ったり、

ハイハイができるようになったり。

自らの欲求によって次々と機能を発達させていきます。

遊びの中で、水・砂・泥など、自然の事物と出会い、

見たり・聞いたり・嗅いだり、触ったり、舐めまわしたり。

それらが五感を磨いて、後々の行動の基礎となっていきます。

自立に向けての歩みが0才から始まっているという所以です。

「自分が!」や「自分で!」という 気持ちを大切にする

感覚が育つとやりたいことをやり抜こうとしはじめます。

「自分で!」という気持ちがあるのを育て、

「自分が!」というしっかりした意志で最後までやり抜くと

自分への信頼が育ちます。

自らが行動していくことを受け止めてもらうことで

安心して次へ進んでいける...

自分自身への信頼は成長・発達の支えとなっていきます。



ゆるぎない自分をつくり 人と交わる力を持つ

自分でしっかりやることを身につけると

それが自信となって、挑戦する力が生まれます。

そして試行錯誤することが、考えることへと発展します。

自分がやりたいという気持ちを繰り返しながら、

自分を充実させる力が育ち、人格を形づくっていきます。

その過程でのコミュニケーションは

人と自分が交わるという大事なこと。

自分の思いを言葉にすることでお互いの気持ちが

通じ合い、社会性が身についていきます。



毎日の生活の営みが学びとなる

わらしこ保育園では、毎日の外遊びや生活の中で手や足を使うことを重視しています。登・降園の仕度、食事の配膳、布団敷き、掃除など、「自分(達)がやれることは自分(達)でやる」ことが園での生活の基本です。

手や足を使うことで脳の発達を促し、楽しみながら生活力が身に付くようにしていきます。また、ハイハイからのどろんこ遊びにはじまり、手遊び、歌、リズム、掃除、縫い物などの手仕事、さらには五感で季節を感じながら伝統食作りに取り組むなど、保育の中で文化を伝えています。



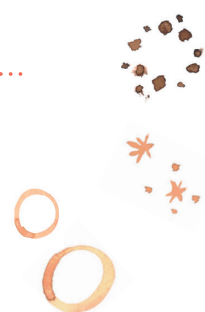
一週間の米づくり合宿



新潟県の山深い農村、松之山。
年長になると子どもたちは、親元から離れて春は田植え、秋は稲刈りと一週間ずつの合宿をします。ここで子どもたちは単なる米づくり体験にはとどまらない、生活の営みを感じ、味わうことになります。子どもが自分の本当の力を知り、仲間と共にする、そのために大人が見守る時間。わらしこのもう一つの保育の場でもあります。

家庭とわらしこの二人三脚で…

日々の子どもの生活を守り、健やかに育てていくことは園の力だけではできません。例えば早寝早起き、食事といった基本的な生活のリズムづくり等は、家庭生活での取り組みがあってこそ。家庭と園とが共同で取り組んで始めて実現できるのです。



自分でできることが広がってゆく…

子育て世代のよりどころに...

子どもの未来を育てる基礎は、子どもも大人も、異年齢、異世代もつながる、おらかな受け止め合いの中でじっくりと、ゆるぎなく育っていくのではないのでしょうか。アフリカの格言に、

「子ども一人を育てるのにも村中の知恵と力が必要だ」

とあります。

「だれも」「もれなく」「愛される」こと。

わらしこ保育園では、一人でも多くの子どもたちに、

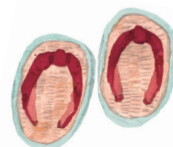
平和な世の中で、安心できる大人のもとで

のびのびと育てほしいと願っています。

親と保育者が協力して子どもの成長を育み見守る、子育ての共同化。

親が安心して預けられる、相談できる保育園として

地域の子育ての核になることを目指しています。



子育て支援

わらしこ保育園では、地域での子育てに関する拠点となるよう様々な取り組みを行っています。

- 一時保育事業..... 一時預かりと定期保育を実施（半日又は1日単位 / 有料）しています。
- 延長保育事業..... 18時～19時までの延長保育を実施しています。
- 障がい児保育..... 障がいをもったお子さんの入所（すくすく保育）受け入れを行っています。
- 子育て相談..... 月に3～4回、臨床心理士の先生に心理相談を受けられます。子育てのこと、ご家庭のこと、お仕事のこと、なんでも相談することが出来ます。
- 医療的ケア児..... 医療的ケアが必要なお子さんの入所受け入れを行っています。
- 異年齢交流事業..... 小中高生職場体験、育児体験の受け入れを行っています。

●地域支援

- 保育所体験..... 園庭を開放し、保育所入所児童との交流を通じて、育児上の工夫、相談について助言をします。
- 食事体験..... 園で提供している食事を一緒に食べていただき、園の子どもの様子を見て頂いたり、相談等を受けています。





“食”を大切に

給食の献立は日本人の体に合った
和食中心の食事です。

昼食、おやつ、軽食のすべてを
厨房で手作りし、材料は旬のもの、
無添加・無農薬、または
それに近いものを選んで使っています。



「ほっ」としてくつろげる家で

珪藻土の壁、無垢材の厚い床板、大きな木枠の
窓からは風が抜け光があふれます。
保育園は子どもたちが生活する家。
四季のうつろいを肌で感じながら
日々の暮らしを重ねていくことで、
子どもたちの感性が育ちます。



● 法人の概要

- 運営主体：社会福祉法人 わらしこの会
- 開設年月日：1982年～
産休明けから2歳児までの無認可の
保育室として開設
1997年～2000年
認可運動
2000年4月1日～
無認可時代の多くの方々のご協力とご支援、
熱い思いを受けて新園舎にて認可保育園
として「わらしこ保育園」開園
2012年4月1日～
2園目となる「わらしこ第2保育園」開園
2015年4月1日～2025年3月31日
「小金井市立まえばら学童保育所」受託運営
2016年5月1日～
児童発達支援事業所「Tossie」開所
2018年4月1日～
「小金井市立みなみ学童保育所」受託運営

● わらしこ保育園の概要

- 園児定員：0歳児（たんぽぽ）/12名
1歳児（のびろ）/15名
2歳児（太陽）/16名
3歳児（つばさ）/19名
4歳児（大空）/19名
5歳児（地球）/19名
合計100名
- 職員構成：園長 / 保育士 / 看護師 / 栄養士 /
調理員 / 事務員 / 非常勤 /
嘱託医（小児科医 / 歯科医） /
臨床心理士（非常勤）
- 保育時間：7:00～19:00
（延長保育時間 18:00～19:00）
これ以上の延長は、保護者同士が
お互いに子どもをみあって、地域で
の繋がりを強くして互いに助け合って
いけるようにとの願いから、やりくり
することを奨励しています。
- 施設規模：敷地面積 1188.85m²
裏庭 202m²
建設面積 687.70m²
建物構造 鉄筋コンクリート2階建

〔 児童憲章 〕

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として
重んぜられる。

児童は、良い環境の中で
育てられる。



社会福祉法人 わらしこの会 **わらしこ保育園**

〒183-0005 東京都府中市若松町4-27-6
TEL 042-369-2622 FAX 042-336-1855

